

2024年7月31日

関西国際空港 セブ・パシフィック航空 関西=セブ線を運航開始！**～関西=セブ間を結ぶ唯一の直行便～**

関西エアポート株式会社は、2024年10月15日（火）より、セブ・パシフィック航空（5J）が関西=セブ線を新規就航することをお知らせいたします。

セブ・パシフィック航空は、充実のフィリピン国内線 35 都市のネットワーク並びにアジアやオーストラリア、中東とフィリピンを結ぶ幅広い路線を展開しており、今回の就航は同社にとってマニラ線に次いで、関西国際空港からフィリピンを結ぶ2路線目となります。

一年を通して温暖な気候で、手つかずのビーチや美しい自然が豊富なセブ島は、日本人にも人気の高い旅行先の1つです。

関西エアポートグループは、引き続き、航空ネットワークの拡充に努め、お客さまの利便性向上とともに、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

○ **運航開始日**

2024年10月15日（火）

○ **運航スケジュール**

（すべて現地時間）

便名	スケジュール（現地時間）	運航日	運航期間
5J5108	セブ発（02:25）→ 関西着（08:00）	火、木、土、日	2024年10月15日～
5J5109	関西発（09:00）→ セブ着（12:45）	火、土、日	2024年10月15日～26日
	関西発（08:55）→ セブ着（12:40）	木	2024年10月17日～24日
		火、木、土、日	2024年10月27日～

※上記スケジュール・機材は予告なく変更される場合がございます。

※運航スケジュールは、関係当局の認可を前提としています。

○ **機材仕様**

機材：A320neo

座席：180席



画像提供：セブ・パシフィック航空

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel：072-455-2201

Thank you, Anniversary





関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構